

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 【特集】農村と都市との絆ーグリーン・ツーリズムで“おうしゅう”に活力を！ー
- 10 保育所・幼稚園の園児を募集
- 12 第2次市行財政改革
- 13 道路上の支障物撤去にご協力を
- 旧市土地開発公社の処分活用状況
- 14 叙勲・褒章
- 15 祝・おめでとう！百歳
- 16 11月は「ねんきん月間」
- 17 希望郷いわて大会
- 18 奥州三大マラソン グラフ
- 20 ILC希望のひかり
- 22 まちづくり探訪ー市民団体活動紹介ー
- 23 結ーゆいー
- 24 地域の窓ー自治区情報ー
- 25 市政ズームイン
- 26 まちの話題
- 28 夢トーク
青春讃歌
- 29 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 30 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 31 子そだて広場
子そだて行事予定
- 32 情報あらかると
- 36 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市

キラリ輝く
奥州人

地域の人たちの応援に
団員の成長で応える

佐々木 仁さん（36歳）
〓 衣川区野田 〓



手取り足取り熱心に指導

衣川中学校グラウンドに子どもたちの元気な声が響く。衣川野球スポーツ少年団アンビシヤスで監督を務める佐々木仁さんは、団員の動きを見つめながら檄をとばす。中学校から本格的に野球を始めた仁さん。高校では、春季東北地区高等学校野球岩手県大会で準決勝まで進むなど、当時の前沢高校野球部の躍進に貢献。社会人でも硬式野球のクラブチームなどに所属し、大好きな野球に打ち込んだ。平成19年、長男がスポーツ少年団に入団するのをきっか

けに指導者の道へ。この時「チームを強くしたい」と決意。大会前には、土日のほかに平日の夜も指導に明け暮れる。仁さんは、「チームの勝利で地域の応援に伝えたい」と語る。ことし4月、全日本学童軟式野球大会地区予選決勝では逆転で優勝。アンビシヤスとしては初の快挙に「団員の成長を感じました」と、仁さんは目を細める。「衣川から甲子園出場選手を輩出することが目標」と、夢に向かって仁さんは白球を追い続ける。



ささき・ひとし◎昭和52年衣川区野田生まれ。衣川土地改良区に勤務し、水路維持管理などを担当。スポーツ少年団指導者の資格を持つ。妻と息子3人、母の6人家族

〈今月の表紙〉



市胆沢区内一周駅伝競走大会（市体育協会胆沢区体育連絡協議会など主催）が11月3日、胆沢区内の駅伝コース37.6㌔で行われました。59回を数えるこの大会は、支部対抗の部、オープンの部、中学校の部に合わせて27チーム251人が参加。沿道の声援を受けながら、晩秋の胆沢路を舞台に、1本のたすきを懸命につなぎました。
支部対抗の部では、中央支部が2時間18分53秒の好タイムで優勝。中学校の部では、南都田中Aチームが2時間16分55秒の大会新記録で優勝しました。



大阪府立金剛高校の生徒による農作業体験の様子。カボチャを収穫してみんな笑顔

ーグリーン・ツーリズムで
“おうしゅう”に活力を！ー

特集

農村と都市との

絆

“きずな”

昭和63年に旧衣川村でスタートしたグリーン・ツーリズム（以下、GT）は現在、平泉町とともに「おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会（以下、おうしゅうGT推進協議会）」として、活動の幅を広げています。今では、一度に約400人の受け入れが可能であり、その規模は県内で最大。主に中学生や高校生の教育旅行の受け入れを行っています。今回、おうしゅうGT推進協議会の活動を中心にお知らせし、農村と都市との交流によるさまざまな効果などを紹介します。

■問い合わせ〓本庁農政課農政係
（内線363）